

経済学科

2012

整理番号 No	科目名 Course Name	学期 Term	配当年次・単位 Student Year(s)・Credit(s)	担当教員 Professor
226	経済学演習 (堀内俊洋)	通年	3年以上：4単位	堀内 俊洋 政政・経演・国演

副題
Subtitle 企業、産業、経済、そしてドラッカー研究

授業概要
Course Description この演習では、生産、供給活動を担っている企業、そしてその集計といえる産業という切り口から経済現象を勉強する事を目的とする。企業活動といえば、主に経営学で考察されるものであるが、経済学の観点からも取り上げるわけである。関心はミクロ的で、応用ミクロ経済学の一つである産業組織論を経済学のベースとする。具体的には、そのような問題意識から、各人が、経営学者ドラッカーの古典的な名著の勉強に取り組む。多くの翻訳書が出版されているはずであるので、原著と照らし合わせながら勉強に取り組み、自分の力で思考する訓練をしてもらいたい。この3年時における各人の成果を4年の卒論に反映、産業組織論とドラッカー研究の総合化を演習で目指して欲しい。

授業の到達目標
Objectives ドラッカーを理解した上で、自分なりの考えを持つことが出来ることがこの演習の目標。

授業計画
Course Schedule 第1回 - 第5回：ドラッカー研究のねらい、対象、アプローチなどを解説。1年間の研究の方向性を討議
第6回 - 第10回：ドラッカーの各著書の研究発表、その1
第11回 - 第15回：ドラッカーの各著書の研究発表、その2
第16回 - 第20回：ドラッカーの各著書及び各自の独自の研究発表、その3
第21回 - 第25回：ドラッカーの各著書及び各自の独自の研究発表、その4
第26回 - 第30回：ドラッカーの各著書及び各自の独自の研究発表、その5、および1年間の取りまとめ

教科書
Textbook(s) とくになし。各自が選んだドラッカーの著作をいわば各自の教科書とする。

参考文献
Reference Book(s) ドラッカーの関連書物。

評価方法 Evaluation	割合(%) Percent(%)	評価基準 Description
試験 Examination(s)	%	
レポート Report(s)	30 %	ゼミ調査目的に沿っていることが合格レベル。
平常点評価 Class Participation	50 %	同上。
その他 Other	20 %	ゼミの勉強に全体的にかかわる協調性を評価。

備考
Note

関連URL
URLs for References